

イトヌノヒゲ

Eriocaulon decemflorum Maxim.
ホシクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内各地で確認されているが、山地の水環境は激変し生育が危惧される。個体数も減少しているため、県域今回準絶滅危惧とした。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では若狭町、美浜町、敦賀市、越前町、あわら市、越前市、勝山市、大野市で確認されている。

種の特徴

山地の湿所に生える一年草。根は白色のひげ状。茎はごく短く、根出葉は線形で長さ3～10 cm、3～9脈あり、格子状になり、先は著しく尖る。8～9月、高さ5～30 cmの花茎が出て、頂に花を付ける。種子は楕円形で長さ0.7～0.9 mm、表面にかぎ毛がある。

生育を脅かす要因

山地開発、自然遷移。

参考文献 若杉孝生 (2008)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○					○	○		○	○	

ハナビゼキショウ

Juncus alatus Franch. et Sav.
イグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

採集例が少ない上、生育地も湿地のため生育基盤が脆弱である。

分 布

本州～九州に分布し、県内では大野市、池田町、越前町、若狭町で古い記録があり、最近では永平寺町、坂井市で採集されている。

種の特徴

湿地に生える多年草。茎は高さ20～40 cm、少し扁圧され翼がある。葉は剣状線形、幅4～5 mm。花期は5～7月。頭花は半球状で多数つく。

生育を脅かす要因

産地局限、遷移の進行、湿地開発。

参考文献 若杉孝生 (2008)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○						○		○	○	○					○	

タチコウガイゼキショウ

Juncus krameri Franch. et Sav.
イグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

採集記録が4件しかなく、生育基盤も脆弱である。

分 布

北海道～琉球に分布し、県内では福井市、越前市、あわら市で記録されている。

種の特徴

湿地に生える多年草。茎は高さ30～60 cmで直立する。茎葉は円柱形、長さ10～20 cm、径1～2 mm。花期は8～10月。頭花は多数で、凹んだ集散花序をつくる。

生育を脅かす要因

産地局限、遷移の進行、湿地開発。

参考文献 若杉孝生 (2008)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
												○	○				○